



せがさきの風



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号

<TEL>781-2446・2447 <FAX>701-4892

<MAIL> y3segasa@edu.city.yokohama.jp

<HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

瀬小の宝物

～ 子どもと共に創る瀬ヶ崎小学校 ～

学校長 大塚 ちあり

10月9日(金)は、前期の終業式でした。

終業式では、1年生から6年生まで学年ごとに順番に起立してもらい、1学年ずつ前期に頑張ったことや成長したことを全校に紹介しました。その都度、温かい拍手がおくられて、どの学年の子どもたちも少し誇らしげに見えました。話の締めくくりは、前期最後の土曜日に行われたスポールフェスティバルの話をしました。

上学年の子どもたちが下学年の子どもたちのお師匠さんになり、どちらの学年の子どもたちも一生懸命練習に励んだ演技が、どれも素晴らしかったこと。たくさんのご家族や親せきの方地域の方々が応援にいらしてくださったこと。正門には学援隊の方々の見守り、何百台も並ぶ自転車の整列は青少年指導員の方々、全ての競技・演技の用具係のサポート役としてスポーツ推進委員の方々、当日ボランティアをしてくださった保護者やPTA役員の方々のこと。そして素晴らしいスポーツフェスティバルを創りあげるために、一か月前から準備を重ねてきた5・6年生の頑張りを全校の子どもたちに伝えました。「こんなに瀬小を応援してくださるまちの皆さん、全校のために頑張る上級生、更に自分の精一杯の力で全力を出す一人ひとりの子どもたち、そのみんなを大切にしながら頑張る教職員などたくさんの人たちが輝いて見えて、そのだれもが校長先生は瀬小の宝物に思えました。」と話をしました。

10月13日(火)後期の始業式では、終業式の話をもとに「校長先生が宝物の話をしたのですが、みんなにも『瀬小の宝物』について考えてほしいです。」と呼びかけ、近くの友達とほんの数分話し合ってもらいました。とても短い時間でしたが「宝物を見つけた人はいますか?」と聞いたところ、多くの手が挙りました。そこで、「どんな宝物を見つけたのか・どうしてそれを宝物と思ったのか、校長先生に教えてください」とお願いしました。その日さっそく「みんなが考えた瀬ヶ崎小の宝物を教えるカード」を作って校長室の前に置いておきました。

リフレッシュタイム(中休みの30分間)や昼休みや放課後、いろいろな学年の子どもたちが画用紙や折り紙の裏や、私の作ったカードに、自分が考えついた宝物について絵や文やお話で伝えに来てくれました。

子どもたちの「宝物」の発想や感性は、実に柔らかくて感動しました。

「みんなで歌う校歌」や「友だちをつくるとか学校でしかできないこと」「みんなのために協力し合う人」「みんなの真剣さ」「お互いの声掛け」「仲間の信頼」「元気な挨拶」「いっぱい笑顔」など、日々の生活の中で大切にしたいと感じている子どもたちの価値観が伝わってくる宝物があって、驚かされました。また、たくさん子どもたちが大好きな「アスレの森」や「皆が大切に使っている校舎」「靴が気持ちよく入っている下駄箱」をあげていました。「運動会やふれあい祭など、自分たちのために頑張ってくれる地域の人や5・6年生!」が宝物と伝えてくれた低学年の子どもたちもいました。子どもたちならではの瀬小の宝物が、たくさん見つかりました。

次の朝会では、みんなが見つけた宝物を紹介します。そして、瀬小の宝物をもっと増やしたり、宝物がより素敵になるようにアイデアを出し合ったりして、みんなの瀬ヶ崎小学校をみんなでつくっていきたいと思います。

10月31日(土)は町の皆さん主催の「芸能祭」が午後12時20分から瀬ヶ崎小体育館で開催されます。瀬ヶ崎のまちの方々が、豊かな芸能を発表し合う場です。言わば、このまちの宝物!ぜひ、たくさんの方々に鑑賞していただき、この素晴らしい文化がこれからも、つながってほしいと思います。